

草の根無償「チャルチュアパ市サン・セバスティアン村ラ・パルマ地区飲料水供給計画」
案件終了式

2021年10月8日、サンタ・アナ県チャルチュアパ市サン・セバスティアン村ラ・パルマ地区飲料水供給計画」の案件終了式を実施しました。同終了式には、チャルチュアパ市長代理、被供与団体代表、地域住民及び当館館員等が出席し、記念碑除幕や記念植樹等を行いました。

同地区は、首都より西へ約83km、車では約1時間半かかる場所に位置しており、住民は農業(トウモロコシ、豆、サトウキビ等)で生計を立てています。同地区の住民は40年以上もの間、生活用水及び飲料水を確保するため、約3km離れた取水場まで毎日往復1時間以上かけて水汲みを行っていました。取水場の利用回数も1家族に対し1日水がめ3杯(約12リットル相当)までと決められており、十分な生活用水が確保されていない状況でした。

このような状況を改善するために、日本大使館は本計画を草の根・人間の安全保障無償資金協力で実施するに至りました。上水道を整備するために、貯水タンクの建設、給水ポンプおよび給配水管の設置等を行ったことで、同地域の108世帯384名の住民が恒常的に安全な水を利用できるようになり、生活環境及び公衆衛生が向上しました。プロジェクト総額は182,253.00米ドルで、その内日本政府は84,263.00米ドル、市役所は43,260.00米ドル、地域住民は54,730.00米ドルを拠出しました。

本計画実施により、住宅内にある蛇口から勢いよく出る水に、住民の方々からの感謝の声を受け取りました。



テープカット



現場視察



記念植樹 左の写真から上原書記官、チャルチュアパ市長代理、被供与団体代表



集合写真。現地の子どもたちがポスターを作成してくれました。「ありがとう日本」と日本語で書いてあるのが印象的でした。



記念碑

〈受益者の声〉



この地区にきて40年以上上水道のない状態で過ごしてきました。家の蛇口をひねるだけで水が出ることに大変感謝しています。裨益者:ファン・ロペスさん



小さな子どもを連れて川に洗濯に行っていましたが、今は家で洗濯ができ、子どもとの時間も取ることができるようになりました。裨益者:ディアナ・メンデスさん